

政治を知ると世の中のしくみが視えてくる

市議会だより

かつらぎ

KATSURAGI

Vol. 59
2025.12.1.

Parliamentary reports of Katsuragi



発表 新たな議会構成の決定
▶ 新しい4年間の始まり

報告 令和7年第3回葛城市議会定例会
▶ 今号の目次は4ページをご覧ください

新議員13名の顔ぶれ

氏名・年齢

(顔写真)

党派・会派※1・期数※2・大字

(令和7年11月11日現在)

※1 会派とは、政治上の主義、理念、政策を共有する議員が集まった団体をいい、本市議会では2名以上の届出により、構成されます。
※2 市制後の議員期数で紹介しています。

福本 善之 41歳



無所属・無会派・1期・柿本

杉本 訓規 49歳



日本維新の会・同上・3期・忍海

川村 優子 66歳



無所属・無会派・4期・竹内

木村 公 47歳



無所属・無会派・1期・中戸

梨本 洪珪 55歳



無所属・無会派・3期・北花内

増田 順弘 71歳



無所属・無会派・4期・大畑

鶴本 義明 50歳



公明党・無会派・1期・薑

吉村 始 57歳



無所属・無会派・3期・疋田

藤井本 浩 64歳



無所属・無会派・7期・新庄

速水 一生 52歳



日本維新の会・同上・1期・八川

奥本 佳史 59歳



無所属・無会派・3期・當麻

西川 善浩 47歳



無所属・無会派・2期・中戸

谷原 一安 70歳



日本共産党・無会派・3期・薑

新たな議会構成の決定

令和7年10月の市議会議員選挙において当選した新議員が、11月1日から4年間の任期をスタートさせました。11月臨時会にて、議長・副議長を選出したほか、各委員会の委員構成などを決定しました。

新たな役員構成は、次のとおりです。
(議席順・敬称略)



議長 増田 順弘
副議長 杉本 訓規

総務建設常任委員会

委員長 吉村 始
副委員長 西川 善浩
委員 靄本 義明
速水 一生
梨本 洪珪
谷原 一安

厚生文教常任委員会

委員長 藤井本 浩
副委員長 杉本 訓規
委員 福本 善之
木村 公
奥本 佳史
川村 優子

議会運営委員会

委員長 川村 優子
副委員長 西川 善浩
委員 杉本 訓規
吉村 始
谷原 一安
藤井本 浩

議会改革特別委員会

委員長 西川 善浩
副委員長 速水 一生
委員 福本 善之
木村 公
靄本 義明
杉本 訓規
梨本 洪珪
吉村 始
奥本 佳史
谷原 一安
川村 優子
藤井本 浩

葛城市の水道事業に関する調査特別委員会

委員長 藤井本 浩
副委員長 谷原 一安
委員 福本 善之
木村 公
靄本 義明
西川 善浩
杉本 訓規
吉村 始

(仮称) 当麻複合施設及びその周辺整備に関する特別委員会

委員長 奥本 佳史
副委員長 川村 優子
委員 福本 善之
木村 公
靄本 義明
速水 一生
吉村 始
谷原 一安

監査委員

奥本 佳史

組合議会

奈良県葛城地区清掃事務組合

増田 順弘
藤井本 浩
杉本 訓規

奈良県広域消防組合

吉村 始

議会だより編集委員会

委員長 西川 善浩
副委員長 福本 善之
委員 木村 公
靄本 義明
速水 一生
吉村 始
谷原 一安

令和7年第3回葛城市議会定例会 が開かれました

- 令和6年度の一般会計と特別会計の決算を認定
- （仮称）當麻複合施設整備工事契約を可決

各常任委員会	決算特別委員会	當麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会	一般質問	全議案の審議結果
P6~7	P8	P9	P10~14	P15

令和7年第3回（9月）定例会を、9月2日から22日の日程で開会しました。

初日に議案が上程され、市長より提案理由説明がありました。2日間の一般質問に続き、各常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会、當麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会を開催し、付託議案を審査しました。

また、議会改革特別委員会、葛城市の水道水に関する調査特別委員会を開催しました。

調査案件 市長の附属機関に議員が入る意義とは？

議会改革特別委員会

委員会では、「議会議員が委員となる各種委員会等について」「市民懇談会について」の2つの項目で協議を行った。

■議会議員が委員となる各種委員会等について

理事者側の意向を確認するため実施したアンケート調査の結果については、ほとんどの会議体において市議会議員が委員から外れても問題ないという回答であった。そのことを踏まえ、本委員会正副委員長と議長で事前に協議をし、基本的に市の附属機関やその他の委員会等には議会議員の委員選出はしないという方針となった。

その上で例外的に市議会から委員を選出する必要があるものを選別することにした。例外的に委員を選出する基準として、

- 市とは別組織であるもの
- 政令等で市議会議員が委員となることを定義しているもの
- 市議会として積極的に活動する必要があるもの

○市議会運営に影響するもの
○その他特別な事情により市議会が関わる必要のあるもの
以上の5つの基準に基づき、今後市議会から委員を選出する16の委員会等を示した。

また、委員は選出しないが、計画等決定過程の確認と市民や専門家の意見を確認するために、傍聴の必要があると思われる7つの委員会を示した。

委員からは、「議員が委員として出席することについて、理事者側と我々との認識の差があることについて指摘があった。今までのように議員が委員として出席するのは難しいと思うので、今回の提案のように、委員会に入らずに傍聴することでも計画策定過程を確認できる。そしてその後の所管の委員会で議論することが、今後において一番大事な部分である。」等の意見があり、基本的には議会議員は市の附属機関等に委員として入らないという姿勢は変えないという方針を確認した。

予算特別委員会

■議案内容

議第67号「令和7年度葛城市一般会計補正予算(第3号)の議決について」

外国人への日本語教室の開催に17万円

問 外国人への日本語教室の開催に関する費用について 報償費等の予算が計上されているが、その内容は。

答 市内在住の外国人を対象とした、月1回程度の日本語教室の開催を予定している。それに係る研修・講師謝礼・消耗品の予算となる。教室では、日本語を教えるだけでなく、ゴミ出しのルール等、日常生活をテーマとした内容を想定している。

意見 外国人の自転車運転で危険な場面が見受けられるので、交通ルールや犯罪に関することなどを学んでもらえる機会を多く作ってもらいたい。

山麓地域の活性化に619万円

問 日本型直接支払制度 資源向上活動等補助金について 対象となるのはどのようなエリアか。

答 農業生産条件に不利な中山間地域において農業者等を支援するための交付金で、山麓地域で活動されている葛城山麓地域棚田振興協議会に対する補助金である。

また、当地域において農家カフェを整備することで棚田振興を図る場合の加算分が追加されている。

意見 山麓地域には花も収穫物もあり、また、葉膳ということを始めるのであれば、これから山麓地域をどのように計画するか市も提案してあげてほしい。

調査案件

今後の水道事業に必要な費用は？

葛城市の水道水に関する調査特別委員会

■水道ビジョン策定の進捗状況について

問 竹内浄水場と兵家浄水場を統合して、竹内浄水場に集約するため、ポンプ設置と導水管の整備が必要とのことだが、兵家の原水を竹内に送るためのものか。

答 竹内浄水場に集約することによって、兵家浄水場でろ過していた原水を竹内浄水場に送る必要がある、2つの浄水場間に導水管を整備する。高低差の関係で自然流下は難しいため、ポンプ場の整備を計画している。

問 令和8年度から30年間で、どれぐらいの設備投資額を見込んでいるか。

答 老朽管更新事業は1億円、重要管路更新事業で1億9千万円、設備更新事業で1億円を想定しており、浄水場の整備を除く分で、3億9千万円を見込んでいる。浄水場整備が行われる

8年間は、年間15億円程度の追加を見込んでいる。

問 奈良県広域水道企業団からの浄水供給単価は現在136円であるが、今後値上げはないのか。また、この件についてどのように対応するのか。

市長 物価や人件費が高騰して大変な状況になった場合はわからないが、今の状態では5年間は据え置かれるという認識を持っている。供給単価は、その時の社会状況により、企業団が判断されるが、5年先ということが分かっているので、情報収集も進めながら、対応を考えていく。

要望 葛城市は自己水を安定的に確保できないため、新たな水源の確保が最優先である。まずは、新たな水源の確保を進めていただきたい。



総務建設常任委員会

■議案内容

議案第60号「葛城市道の駅かつらぎの指定管理者の指定について」

■主な質疑

問 指定管理者の募集にあたって（応募があったのが1社のみのことだが）、応募者を増やすための取り組みは。また、周知方法についてはどうか。

答 応募者を増やすための取組としては、ガイドラインに基づいて、今まで以上に応募期間を長くした。周知方法については、公平性の観点からホームページのみで行った。

意見 （指定管理者制度の趣旨に添って）広く提案を受けることが、道の駅事業の新たな発展に繋がる。他の事業者への働きかけも行うべきだ。

問 （道の駅かつらぎの）事業者から新たな提案はあったのか。また、（同施設は）市内の雇用創出に寄与していると思われるが、市民の方の雇用人数は。

答 しあわせの森公園を活用したイベント等を考えておられるとのことだ。また、全従業員60名中50名が市内の方であり、積極的に市民の雇用を進めていただいている。

意見 市内の雇用創出と併せて、しあわせの森公園に、もっと手を入れていただきたい。

■採決

委員会、本会議共に賛成・反対の討論ののち、賛成多数で原案のとおり可決。



調査案件 耕作放棄地問題に向き合う

調査案件

■耕作放棄地に関する事項について

理事者からの報告は特になかったが、複数の委員から質疑が行われた。

■主な質疑

問 農地の地域計画の策定は南藤井1地区のみであり、市全体では少し遅れている。令和7年度末までに他地区でも計画を公表できるのか。

答 時期は明確にできないが、今年度中の策定を目指している。他の地域も相談に応じ、必要に応じて計画策定へ進めたい。

問 補助金受給のために地域計画は不可欠である。策定の声が上がらない地域に対し、市はどのように働きかけるのか。

答 全地域を並行的に進めるのは難しいが、各種農業団体の集まりで説明し意向を探りたい。

問 視察研修先で、資源開発を目的としたトウモロコシ畑の事例を目にした。先を見越した土地利用であり、最先端の事業だ

と感じた。耕作放棄地について市長の考えは。

市長 現状、耕作放棄地は増加している。国の農政だけでは防ぎ止まず、新たな考え方の導入が必要だ。現在検討中であり、まとまれば報告したい。

問 平野部では住宅に隣接する農地が耕作放棄地となる事例がある。市の考えは。

答 まちなかの耕作放棄地では公害雑草の苦情が増えている。具体策はこれからだが、その点についても耕作放棄地対策としての一つの方向性を見いだしていきたい。



厚生文教常任委員会

■議案内容

議第61号「葛城市堆肥場設置条例を制定することについて」

■主な質疑

問 3月議会で周辺の地権者と話をしたと説明を受けたが、寺〇区だけで、平岡区にはなぜしなかったのか。

答 周辺の立地条件等から判断した。

問 一番近い民家は平岡区にあることを考慮すると、進め方として決して良くないと思う。その判断は誰がされたのか。

副市長 過去からの経緯等を踏まえ市役所の中で検討した。その中で立地条件等を鑑み、市長、私、関係職員で判断した。

問 3月議会の後、説明に行かれたと聞いているが、その経緯は。また、誰が行かれたのか。

答 平岡区の大字説明会は、令和7年6月29日に行った。冒頭で平岡区に混乱を招いたことをお詫びし、堆肥事業にご理解い

ただけるよう説明した。市民生活部長と環境課長、課長補佐、また副市長に同席いただいた。

問 その時に、ご理解はいただけたのか。具体的な状況は。

答 移転にあたり堆肥事業がどのようなものであるかや今のバーベキュー場に移転を考えていることを説明した。ご理解賜るようをお願いさせていただいたが、当日は結論にまで至らなかったと考えている。

問 理解を求める際に、納得いただけないところはどこかというところが一番大事だと思う。まず何を心配されているのか。

答 説明会では、臭気と鳥獣害被害等についての話がでた。

意見 堆肥を作っている方に聞くと発酵が良いほど臭気はないということであった。委員会として一度現地へ出向き状況を確認したい。

この意見を受け委員会を休憩し、委員全員で現堆肥場を視察し、臭気等の懸念事項の確認を行った。視察後質疑を再開した。**問** 市にとって事業をしていくメリットや効果は。

答 最初の設置目的としてはゴミの減量化が第一であった。

市長 この事業は非常に大切な事業だと認識している。寺〇区には了解いただいたが、平岡区にはご理解はいただけておらず、努力が足らなかったと反省している。今後努力していきたい。

意見 条例施行規則第9条に必要なことは市長が別で定めるとある。例えば臭気を計測したり、鳥獣害を監視カメラで確認できる対策を講じていただきたい。

市長 平岡区の皆様が心配している件は随時行政側で対応させていただきたい。また、今の規則で対応できない場合は休止という形も考えていく。平岡区の皆様にご理解をいただけるように最大限努めてまいりたい。

■採決

委員会、本会議共に継続審査を求める動議の提出があり、賛成少数で否決。

原案に対する採決では、委員会は全会一致で可決。本会議では賛成・反対の討論のち、賛成多数で可決。

■熱中症対策用備品の購入に関する事項について

市立保育所、幼稚園、小・中学校に通う子どもたちのための熱中症対策用備品の購入の経緯、備品の詳細および予算執行の考え方について理事者から説明があった。

問 補正予算や専決での対応をとらなかったことやプレスリリース直前での議会報告となった理由は。

副市長 暑さ対策は災害対応であるという認識のもと、各部署において必要な対策を検討し早急に対応するよう指示をした。今後、当初予算の段階から想定できる対策については予算計上してまいりたい。

市長 会計処理にあたっては一定のルールを持っており、そのルールに従った。議会に対してその予算の執行のあり方をどのタイミングでお伝えするのがいいのか再度厳しく検討したい。事前報告についての不手際があった点についてはお詫びしたい。

議案審議

おひさま堆肥場の移転について

調査案件

熱中症対策用備品の購入

決算 審査

市のお金はどのように使われたのか？ 議会が厳しくチェックします。

令和6年度的一般会計及び6つの特別会計、水道と下水道の企業会計の決算、一部事務組合の解散に伴う決算について9月11、12、16日の3日間にわたり決算特別委員会において審査を行いました。本委員会では指摘された意見や要望は、今後の予算編成や予算執行に役立てられます。質疑の一部を紹介します。



谷原副委員長

増田委員長



横井委員

西川委員



杉本委員

柴田委員



藤井本委員

松林委員

中央公民館の清掃委託

問 清掃の頻度は。また範囲は。
答 1階はトイレなどを含む清掃が月3回2階以上は全体の清掃で年4回である。
問 利用者から2階以上のトイレが汚いと聞くと、清掃の頻度を増やしては。
答 職員が見回っているが、検討する。
要望 契約額内で2階、3階のトイレの追加清掃を依頼していただきたい。

屋敷山公園の整備

問 屋敷山公園噴水広場および遊具の更新について問う。
答 令和7年度に噴水広場を、令和8年度に遊具の更新をする予定である。遊具については、ふわふわドームや、複合遊具等を設置する。子供たちに喜んでもらえる整備をさらに進めてまいりたい。
問 4つある大規模公園管理の効率性に問題はないか。
答 これらの公園を一つの課でまとめられないか、今後、検討してまいりたい。

自然保育事業

問 具体的な活動は。
答 園庭の人工池でメダカを飼ったり、公園や昆虫館で園外保育を実施している。
問 自然保育と非認知能力のつながりについてどう考えているのか。
答 非認知能力を高めるためには体験活動が重要である。本当の自然の中へ行くことは、まだできていないと感じている。

予約型乗合タクシーの利用状況

問 予約型乗合タクシーの利用状況が少なくないように思うが、この状況をどのように分析しているか。
答 環状線とミニバスルートの利用人数については増加傾向にある。一方で、予約型乗合タクシーについては、予約してからルートの路線に乗っていただかなくてはならないという点がネックとなり、利用人数が伸び悩んでいると分析している。予算や効果を考えつつ、形態等について見直しを進めていく。

ペーパーレス会議システム

問 葛城市議会におけるペーパーレス会議システム導入による経費削減効果について問う。
答 システムに係る令和7年度予算は、186万2千円の支出に対して、予算書や決算書の印刷費が約195万円で、差引き約9万円の予算削減効果と見込んでいる。

観光プロモーション動画の作成

問 YouTube動画の再生回数と、それ以外での視聴可能な場所は。
答 令和7年8月末現在で日本語版がショート版とロング版合わせて44万回、英語版が247万回、フランス語版が22万回である。海外の方からの関心が高かったと分析している。東京メトロの駅構内や車両内、渋谷スクランブル交差点等のデジタルサイネージで流した。

当麻複合施設整備の入札不落への対応

当麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会（閉会中開催）

■理事者報告

当麻複合施設整備工事は、6月30日の一般競争入札で不落となり、仕様見直しを経て8月7日に再公告、9月8日に再入札予定。開館は令和9年春頃に延期。指定管理者の公募では開館時間を午後9時まで延長し、プレイスペースやカフェ区画の設置も検討している。

■主な質疑

問 不落の原因は。

答 人件費・物価高騰、設備業者の繁忙による人手不足が主因。

問 仕様見直しの内容は。

答 断熱材の変更など約35項目を抽出し、品質等をできるだけ落とさず内容を変更してコスト削減を図るバリューエンジニアリングと、品質等を価格の安いものにし、コスト削減を図るコストダウン手法で予定価格と応札価格の約1億9,500万円

の差を縮める工夫をしている。

問 断熱性能への影響は。

答 吹付断熱から断熱マットへ変更し、性能・吸音性を維持。

問 デザインや機能への影響は。

答 一部デザイン変更はあるが、耐久性・快適性・機能は維持。

問 設計積算精度向上の対応は。

答 市の体制で今後どのようにするか対応策を研究予定。

問 コスト削減項目で最も大きい変更は。

答 金額は非公表だが、断熱材の変更が最も大きい。

問 補正予算の検討は。

答 議論中だが、現行予算内で施工を目指す方針。

問 図書館整理日の庁舎部分への動線はどのようにするのか。

答 パーテーションポール等で区切り、案内スタッフが誘導。

問 プレイスペースと指定管理

者の調整は。

答 専門業者に別発注し、指定管理者の意見を反映するよう公募資料を作成予定。

問 カフェスペースの運営は可能か。

答 営業許可取得可能な設計で、提案内容により運営形態を決定。

■要望

・設計業者への指導と専門職の採用による体制強化を。

・次回入札に向けて業者への周知徹底を。

・複合施設の特性を市民に丁寧に案内し、指定管理者には円滑な運営を求める。

・再度不落になる事態に備え、早急な対応策を議会に示すこと。



▶プレイスペースのイメージ

工事請負契約の締結について

当麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会（定例会中開催）

■議案内容

議第73号「工事請負契約の締結について（仮称）当麻複合施設整備工事」

複合施設整備について一般競争入札（電子入札）を実施した結果、前回参加者が落札し、26億1,800万円で請負契約を締結するもの。

■主な質疑

問 再度入札に向けてのコストダウン等の見直しの結果は。

答 約1億5千万円のコスト削減を図った。

問 JV（共同企業体※）を当初不可としていた理由は。

答 初期要件に想定がなく、再入札時に整備した。

要望 業者が競争できる体制づくりと、工期延長に伴う工事指導の徹底を求める。

■採決

委員会・本会議共に全会一致で可決。

※JVとは、複数企業が協力して工事を担う体制のこと。

市政に斬り込む！ 一般質問

一般質問は、議員が自らの問題意識に基づき、市政全般に対して現在の状況や将来の方針について質問し、政策の見直しや提言などを行うことです。9月定例会では、9月4日・5日の2日間にわたって9人の議員が一般質問を行いました。

高田川のメンテナンス (高田川の通路の道路化)



問 高田川の管理道が通学
の側道、太鼓橋から鳥井戸橋にかけてのメンテナンスについて奈良県に相談したところ、先方より、当該区間は道ではなく河川管理のため、当該場所では事故発生時の保険が適用されないとのことで大変驚いた。現実問題として、太鼓橋が通行止めなのでその区間の通行量が増えている。まだ復旧に2、3年はかかると思っている。その間、我々はどうかすればよいのか助言を求めたところ、河川管理通路を市道にしてはどうかという提案をいただいたので、市に相談したところである。

答 通行人が怪我等をおった場合においては、葛城市の総合賠償保険の対象とならないということを確認いたしました。奈良県と協議した結果、占有物として申請し許可を受けることで、総合賠償補償保険の対象となるということです。今後占有物の管理瑕疵が原因で事故が発生した場合、市が加入している総合賠償補償保険で過失割合に応じた保険金が支払われることとなり、安心して利用いただけます。

一般質問



横井 晶行
よこい まさゆき

その他の質問

- ・今回は1つの問題に焦点を当てて、掘り下げて質問

避難所の環境改善について



一般質問



松林 謙司
まつばやし けんし

その他の質問

- ・今回は1つの問題に焦点を当てて、掘り下げて質問

問 政府は、昨年12月に避難所の運営指針を改定し、被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示すスフィア基準を取り入れ、『トイレ』は50人に1基だったものを20人に1基と明記し、避難所内の1人当たり『居住スペース』を最低3・5㎡、畳2畳分としている。これらの基準値を踏まえ本市における取組を伺う。

答 「トイレ」についてはトイレカーの追加導入など引き続き避難所におけるトイレ環境の量的、質的な向上に取り組んで行きたい。また、避難所の『居住スペース』一人当たり3・5㎡確保を目指すという目標については、避難所内でのエリア区分、間仕切りの活用

によるプライバシー確保などを組み合わせることで避難者の居住スペースを可能な限り広く確保したいと考える。

問 避難所運営指針では、地域内でキッチンカーを手配するなどの取組事例が紹介されているが、本市においても災害時に迅速に被災者へ温かい食事を提供できるようにキッチンカー協会との間で早期に災害支援協定を締結するべきであると思うが市長の考えは？

市長 温かい食事を迅速に提供できるキッチンカーの活用は有効な手段の1つと考える。キッチンカー協会との協定については、前向きに検討して行きたい。

一般質問



坂本 剛司
さかもと つよし

その他の質問

- ・クビアカツヤカミキリについて

就学前施設担当課の方向性について



坂本 6月に引き続き、就学前施設担当課の方向性について質問します。前回も言いましたように、幼稚園、保育所、認定こども園における3歳以上の園児には、国が定める幼稚園教育要領、保育園保育指針、認定こども園教育保育要領によって内容が統一され、同じカリキュラムによって、遊びによる集団活動や集団生活における体験による学び、園児の想像力を引き出す手助け、工夫してできたことの達成感を園児に経験させるための職員の力量と資質の向上などが、今の就学前施設に求められ、次の小学校へとつないでいくものであり、過去から幼稚園は教育する施設、保育所は養護と

保育をする施設と言われ、葛城市ではいまだ差別化されております。

問 子育てしやすい街を自負している市でありますので近々、幼稚園と保育所、認定こども園の事務的所管を一本化するお考えがあるのか市長にお伺いします。

市長 市内に4つの小学校附属幼稚園があり、それらの施設をどのように整備していくかも考慮しながら幼稚園担当課と保育所担当課の統合等、子育て組織の改編をしていく必要がある。コストが下がるなどメリットが大きい場合には組織改編の可能性は十分にあり得る。

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

一般質問



谷原 一安
たにはら かずやす

その他の質問

- ・地域農業の将来と地域計画の策定
- ・住宅開発に伴う公園のあり方

葛城市の水道水源地を保護する条例の制定を求める



- 問** 葛城市の水道水の水源について聞く。
- 答** 葛城市水道事業が水源として利用しているため池が10力所、それらため池に流入している河川は8水系あります。
- 問** 市はこれら水道水源地を保護・保全するための条例を制定しているか。
- 答** 制定しておりません。
- 問** 水道水源地の保護を目的とした条例を定めている市町村はいくつあるか。
- 答** 国の調査によると106市44町3村1団体の154団体が制定しています。
- 問** 奈良県内ではどうか。
- 答** 2市2村で制定しています。
- 谷原** 産廃法に基づく許可申請については、一定の規模以上、また、ある条件のある事業は許可を受けなければいけないが、小さな事業、その条件に当てはまらない事業については許可申請がいらぬ。そのため、水道水源地保護条例を設けている地方自治体では、これらの事業についても市町村に届出することを求めて届出の中で条件をつけるなどして、水道水源地を保護する工夫をしている。
- 問** 葛城市においても水道水源地保護・保全条例を制定すべきではないか。
- 市長** 安全で安定した水の供給を確保する上で重要な課題なので、関係機関との調整を行いながら、より効果的な水源保全策として慎重に検討してまいりたい。

當麻・新庄図書館それぞれの資料の収集方針について



- 問** 當麻・新庄両図書館の現在の収集方針は？
- 答** 平成23年策定の「葛城市立図書館資料収集方針」に基づき、幅広い資料を収集している。
- 問** (仮称)當麻複合施設内に開業予定の新當麻図書館については？
- 答** 利用者のニーズを把握し、新しい資料を収集して、通いたくなる図書館を目指す考えだ。
- 問** 小さなお子さんを持つ利用者への配慮は？
- 答** 在架予約サービス(書架の本を予約できる仕組み)の提供を検討中だ。
- 問** 新庄図書館での同サービス導入の検討は？
- 答** 新當麻・新庄の両館での導入を検討している。
- 問** 近年、公共図書館で導入が進むボードゲームの収集と利用については？
- 答** 新當麻図書館での導入を検討したい。
- 問** ボードゲームを使った市民交流型イベントは、新しい複合施設の趣旨にも沿うものと考えるが？
- 答** 世代を超えた交流を促し、地域交流の拠点となると考える。
- 問** 今後の収集方針は？
- 答** 新當麻図書館は子どもや子育て世代に重点を置く一方、新庄図書館は専門性のある資料に比重を置いて収集を行う予定だ。
- 吉村** 新當麻図書館の開業を、公共図書館の可能性の拡大と新庄図書館の充実につなげていただきたい。

一般質問



吉村 始
よしむら はじめ

その他の質問

- ・尺土駅前道路の通行安全対策について

新町スポーツゾーンの確立と 国スポに向けた施設改修に向けて



一般質問



西川 善浩
にしかわ よしひろ

その他の質問

・(仮称) 弁之庄・木戸線の進捗を問う

西川 今現在、新町スポーツゾーン基本計画策定会議はどのような状態で今あるのか。

答 会議については、一旦終了しているが、当エリアについては、スポーツ振興ゾーンと位置づけ、市民がスポーツを楽しみ、健康増進や交流を図る場としての機能強化を進めることとしている。令和13年に本県で開催される第85回国民スポーツ大会のサッカー競技の会場地として選定されていることから、更に活用が広がるエリアとなるよう整備計画なども含め、新たに検討の機会を設ける必要があると考えている。

西川 スポーツゾーンのエリア全体の在り方について、どのようなビジョンを持っているのか？

市長 当時の状況と今の社会状況ではスポーツに対する投資の考え方というのが若干変わってきているように思う。その中で新たな投資をするということには、慎重にならざるを得ない状況にある。

葛城市で出来る投資の範囲で最大限のことは尽くすが、もう少し長いスパンの考え方については、整理をする必要がある。

西川 市単独で出来ることも限界がある。パークゴルフなどの事業手法も検討しながら、市民が健康増進・スポーツを目的とし集い交流を深める場所としてあり続けたいと願う。

年々増加傾向にある 市内の空き家対策について



一般質問



増田 順弘
ますだ のぶひろ

その他の質問

・災害時の備えと避難方法について
・農業の活性化に向けて

問 令和5年9月議会の一一般質問でも指摘した空き家対策の遅れについて、現在の進捗状況は？

答 令和6年に実態調査を実施し、7年には空き家等対策計画の素案を策定した後、策定委員会を開催し意見等をいただいた。実態調査では、前回調査した平成29年度411件であった空き家件数が今回の調査では129件増加している状況である。このうち外観上利用可能な物件が64%程度、利活用できない物件は7%程度となっている。

問 改正空家特措法では空き家対策を進める上で空き家の利活用が重要なキーワードであるが市のお考えは？

答 不動産業者などの民間事業者との連携を図るとともに、大字区長様とも連携を密にしていけることも重要と考えている。また歴史的価値のある建物が空き家になった場合などについては関係部署とも慎重に検討していきたいと考えている。

問 空き家の課題は周辺に対する影響と所有者の適正管理の両面があると思うが、行政の支援は充分か？

答 隣接者からの相談は企画政策課が窓口となり現場確認の上、適正管理をお願いする旨の文書を送る等の対応をしている。所有者からの相談については専門的見地も必要なことから空き家コンシェルジュに委託している。

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

一般質問



柴田 三乃
しばた みつの

その他の質問

- ・今回は1つの問題に焦点を当てて、掘り下げて質問

小学校が目指す英語教育はどこにあるのか



- 問** 5年前に始まった小学校英語教育の効果と課題は。
- 答** 児童は英語や外国文化への興味・関心を高めるとともに、英語での積極的なコミュニケーション態度や聞く力が向上している。一方で、課題は授業の「質」の向上にあり、目的や状況に応じた言語活動の指導法、発音指導、個々の発言機会の確保などが求められている。教員の指導力を高め、児童のコミュニケーション能力向上を図ることが重要であると考えます。
- 問** 市内小学校とオーストラリア・メルボルンの小学校が授業提携を始めて約3年だが、得られた成果は。
- 答** 異文化理解が深まり、言語能力やコミュニケーション能力の向上が見られ、外国の児童と積極的に関わる姿勢が児童のグローバルな視野を広げ、豊かな人間性の育成につながっている。
- 問** 中学校になった途端、楽しかった英語が勉強になって一気に嫌いになることがある。小中学校の連携は。
- 答** 意見交換や授業見学を通じて相互理解を深め、小学校で培った力を中学校の外国語科へ円滑につなげるための連携を進めている。
- 教育長** 小学校の英語教育を通じて、多様な文化や価値観に触れ、積極的にコミュニケーションを図る態度を育んできた。国際社会で信頼を得る文化理解や思いを伝える力を育む教育を推進していく。

今後の本市の財政見通しについて



- 問** 今後の本市の財政について、長期的な見通しは。
- 答** 新型コロナウイルスの流行や物価高騰、ウクライナ情勢など、いつ、何が起こるか分からない状況の中、国がいかなる支援策をとるかによっても、地方の財政状況は大きく変わっていく。できるだけ財政調整基金に頼らない予算編成を行っていくという考えの下、歳出予算においては、ある程度のボーダーラインを見極めていくこと、また、歳入では更なる自主財源の確保が重要であると考えている。
- 問** 企業誘致など、市の収入を増やす取組を進めていただき、基金残高も増やす努力もしていただきたいが、15年20年先について、市長の考えは。
- 市長** 企業誘致について、民間活力の導入としては、(仮称)當麻複合施設の周辺エリアにおける商業施設の誘致や新村工業系ゾーンの工場誘致など地域経済の更なる活性化を促進し、歳入財源の確保に努めたい。基金残高や将来負担比率などの財政指標も踏まえた上で、葛城市の将来に向け、未来に対する投資をどれだけ図っていけるかが大きな課題であると考えている。
- 西井** 市の財政を十分検討した中で、運営されていることは理解している。議会の意見にも耳を傾け、市民第一で、市民が喜ぶ市政を目指して頑張ってもらいたい。

一般質問



西井 覚
にしい さとる

その他の質問

- ・観光政策について
- ・農業について
- ・投資及びIRに対する危険の教育について

令和7年第3回定例会議案等の本会議審議結果

議案等番号	件 名	議決結果
議第53号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全 会 一 致 適 任
報第4号	令和6年度葛城市決算に基づく健全化判断比率の報告について	報 告
報第5号	令和6年度葛城市決算に基づく資金不足比率の報告について	報 告
認第1号	令和6年度葛城市一般会計決算の認定について	賛 成 多 数 認 定
認第2号	令和6年度葛城市国民健康保険特別会計決算の認定について	賛 成 多 数 認 定
認第3号	令和6年度葛城市介護保険特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
認第4号	令和6年度葛城市学校給食特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
認第5号	令和6年度葛城市霊苑事業特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
認第6号	令和6年度葛城市・広陵町介護認定審査会特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
認第7号	令和6年度葛城市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について	賛 成 多 数 認 定
認第8号	令和6年度葛城市水道事業会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
認第9号	令和6年度葛城市下水道事業会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
認第10号	令和6年度奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合市町村特別会計（葛城市）決算の認定について	全 会 一 致 認 定
議第54号	葛城市公民館の指定管理者の指定について	全 会 一 致 可 決
議第55号	葛城市老人憩いの家の指定管理者の指定について	全 会 一 致 可 決
議第56号	葛城市集落センターの指定管理者の指定について	全 会 一 致 可 決
議第57号	葛城市農業集会所の指定管理者の指定について	全 会 一 致 可 決
議第58号	葛城市ふれあい集会所の指定管理者の指定について	全 会 一 致 可 決
議第59号	葛城市農畜産物処理加工施設の指定管理者の指定について	全 会 一 致 可 決
議第60号	葛城市道の駅かつらぎの指定管理者の指定について	賛 成 多 数 可 決
議第61号	葛城市堆肥場設置条例を制定することについて	賛 成 多 数 可 決
議第62号	葛城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正することについて	全 会 一 致 可 決
議第63号	葛城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて	全 会 一 致 可 決
議第64号	葛城市税条例の一部を改正することについて	全 会 一 致 可 決
議第65号	葛城市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することについて	全 会 一 致 可 決
議第66号	奈良県葛城地区清掃事務組合規約の変更について	賛 成 多 数 可 決
議第67号	令和7年度葛城市一般会計補正予算（第3号）の議決について	全 会 一 致 可 決
議第68号	令和7年度葛城市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議決について	全 会 一 致 可 決
議第69号	令和7年度葛城市介護保険特別会計補正予算（第1号）の議決について	全 会 一 致 可 決
議第70号	令和7年度葛城市学校給食特別会計補正予算（第1号）の議決について	全 会 一 致 可 決
議第71号	令和7年度葛城市水道事業会計補正予算（第1号）の議決について	全 会 一 致 可 決
議第72号	令和7年度葛城市下水道事業会計補正予算（第1号）の議決について	全 会 一 致 可 決
議第73号	工事請負契約の締結について（（仮称）當麻複合施設整備工事）	全 会 一 致 可 決
発議第3号	葛城市議会委員会条例の一部を改正することについて	全 会 一 致 可 決

議第53号 小谷剛紹氏(竹内)

報第4号 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの比率の報告。

報第5号 公営企業である水道事業会計、下水道事業会計の資金不足比率の報告。

認第1号から認第10号 [P.8](#)

議第54号から議第58号 各施設の指定管理者の指定期間が、令和8年3月末で満了することに伴い、引き続き当該地域の運営委員会または自治会を指定管理者として指定するため議決を求めるもの。

議第59号 施設の指定管理者の指定期間が、令和8年3月末で満了することに伴い、公募の結果、引き続き「株式会社農業法人 當麻の家」を指定管理者として指定するため議決を求めるもの。

議第60号 [P.6](#) 議第61号 [P.7](#)

議第62号 法令の改正に伴い、仕事と生活の両立支援の拡充のために改正を行うもの。

議第63号 法令の改正に伴い、部分休業制度の拡充を行うために改正を行うもの。

議第64号 法令の改正に伴い、市民税及び市たばこ税に係る所要の改正を行うもの。

議第65号 法令の改正に伴い、公営企業職員の部分休業に係る給与の減額規定を整備するために改正を行うもの。

議第66号 組合の共同処理事務のうち、し尿運搬事務を香芝市が単独で行うことになったため規約を変更するもの。

議第67号から議第72号 [P.5](#) 議第73号 [P.9](#)

発議第3号 議員定数条例の改正に伴い、委員定数等を整備するために改正を行うもの。

令和7年第3回定例会議案等に対する各議員の賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全会一致で可決、同意等されました。

議案等 番 号	件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		氏名 議決 結果	西 川 善 浩	横 井 晶 行	柴 田 三 乃	坂 本 剛 司	杉 本 訓 規	欠 員	吉 村 始	奥 本 佳 史	松 林 謙 司	谷 原 一 安	川 村 優 子	増 田 順 弘	西 井 覚	藤 井 本 浩	下 村 正 樹
認第1号	令和6年度葛城市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	-	○	議長	○	●	○	○	○	○	○
認第2号	令和6年度葛城市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	-	○		○	●	○	○	○	○	○
認第7号	令和6年度葛城市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	-	○		○	●	○	○	○	○	○
議第60号	葛城市道の駅かつらぎの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	-	○		○	●	○	○	○	○	○
議第61号	葛城市堆肥場設置条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	-	●		○	●	○	○	○	●	○
議第66号	奈良県葛城地区清掃事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	-	○		○	●	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 ※議長は表決に加わりません

中学生「志」議会

■中学生議員の感想

よ り良いまちにするために自分の意見を発表できたことが貴重な経験になりました。

と ても緊張していましたが、市長や議員の皆さんが明るく、優しく接してくださったのでとても気持ちが軽くなりました。

学 校に戻った時の同級生からのほめ言葉に頑張つてよかったなと思いました。

議 会を通して、自分たち中学生の意見も必要とされていることを実感しました。

こ の機会をきっかけに、私たちの健やかな生活の背景には、議論の他に市民のより良い未来のためにという温かい思いがあることが分かりました。

他 の学校の生徒の質問・意見を聞くことで新しい考えを持つことができました。

こ の経験を生かし、自分できめることはないかと少しずつ考えて行動しようと思います。



▲中学生議員の皆さん

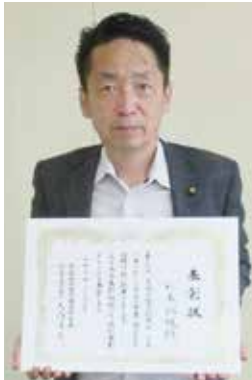
奈良県市議会議長会表彰

この度、奈良県市議会議長会より、永年にわたり行政発展に寄与された功績から、正副議長4年以上表彰として川村優子議員が、また、正副議長2年以上表彰として杉本訓規議員が、それぞれ表彰され、9月議会冒頭に執り行われた伝達式において表彰状が手渡されました。

これからも健康に留意され、市政発展のためにご尽力賜りますようお願いいたします。



川村優子議員



杉本訓規議員

編集後記

今年は猛暑が続きましたが、ようやく秋の気配を感じられる季節となりました。

この記事が掲載される頃には葛城市議会選挙も終わり、新たな議会だより編集委員が構成されます。

歴代の編集委員は、市民に親しまれ読みやすい紙面を目指して努めてきました。その思いがこれからも受け継がれていくことを期待します。

(松)

※今回の編集後記は、令和7年10月でご勇退された松林謙司前議員にご寄稿いただきました。

■議会だより編集委員会

◎西川 善浩 ○福本 善之

木村 公 鶴本 義明

速水 一生 吉村 始

谷原 一安

(◎委員長○副委員長、議席順)

◆次号議会だより

(令和8年3月1日発行予定)
は、12月定例会の概要などをお知らせします。